



小山南生徒会通信

第1号 発行日 令和4年12月20日(火)

今学期から皆さんに生徒会の活動を知ってもらいたく生徒会通信を発行することにしました。

この生徒会通信では1か月半に1度生徒会役員で行っている活動や、皆さんが楽しんでいる行事のお手伝いなどをお知らせしていきます！

生徒会がもっと「身近な存在」になれるよう頑張っていきたいと思います！

今回は部活動の大会で名誉ある成績を残した皆さんにインタビューしてみました！

生徒会通信のインタビュー(部活)

○ウエイトリフティング部 3S1 塚田 直人さん

① 大会の感想

地元開催だったのと、国体で優勝(三冠)することができて嬉しかったです。大会前に新聞やテレビの取材などでプレッシャーが凄かったです、本番ではリラックスしてできました。また、有言実行することができました。

② 大会で勝てた秘訣

ウエイトリフティングは中学一年生からやっていて、その時から国体で優勝を目標に頑張ってきました。また、国体の監督が中学生の時の恩師だったおかげもあり、安心して、調子がいい状態で国体に望むことができました。なので、負ける気がしませんでした！！

③ 次の大会の意気込み

今度は、大学生と戦うので自分の強さがどこまで通用するのか知り、高校生の中で一位を取りたいです。できれば、高校生だけではなく大学生も含めて優勝を狙えるように頑張りたいです！！



○男子サッカー部 3S3 小西 利空さん

① 大会の感想

私たちはグリーンスタジアムで試合することが目標であり、そのためには大会でベスト4に入らないといけません。私たちは、選手権や練習試合などで大体10連敗ぐらいでした。その10連敗の中でどうやって勝つのか監督中心にみんなと一緒に話し合ったおかげでカップ戦をきっかけに変わって勝つことができました。普段だと1回戦や2回戦で負けてばかりで、最近では勝っていませんでした。まず、そこでどのようにして突破することができるのかが問題でした。先のことを考えずに目の前のことに集中したことによって5年ぶりにベスト8に入ることができました。

キャプテン兼エースとしても、大会の中で優秀賞をとることができました。個人としても、チームとしてもいい結果をとれたと思います。

② 大会で勝てた秘訣

今年は特に、先輩後輩関係なく仲が良かったのが一番の秘訣だと思います。今年の代は、去年より誰でも言い合えて高められる仲だったのでベスト8までチーム一丸となって進めたと思います。

あと、フォワードと言って得点を取るポジションで自分を中心とした得点を取ることができました。

ちなみに、4試合で6得点を取りました！！

③ 次の大会の意気込み

関東リーグのトップの方で部員数も300人近くいて、いろんなリーグがある中で一つでも多く上に行けるように今からでも、誰よりも努力して憧れるような選手になりたいです。ちなみに、憧れの選手はソン・フンミンです。



○男子バスケットボール部 2S2 御子貝 蓮人さん

① 大会の感想

厳しい山でしたが、チーム一丸となって掴んだ勝利になったと思います。3年生は最後の大会でもあり、今まで以上の熱い思いを持ち練習からハードワークをしてきました。結果は、ベスト4で終わってしまいましたが、今大会ではどこのチームよりも勢いがあり注目を浴びた大会でした。

② 大会で勝てた秘訣

チーム全員が「勝つ！」という思いが強かったから勝てたと思います。前半から自分たちの試合の流れが作れて、その勢いが後半にも止まらず勝つことを確信することが出来ました。また、夏休みから体づくりをしていたので、体力やフィジカル面でも勝てました。それも、勝てた秘訣だと思います。

③ 次の大会の意気込み

チームの目標が「関東大会出場」でしたが県内2校しか行くことができず、前回の大会よりも厳しく苦しい時間が続くと思います。そこでも、自分たちは挑戦者としての熱い思いもあるので「南風」を起こして、チーム全員で戦い今までお世話になった方々に結果でその恩を返せるように頑張りたいです。そして、関東大会の出場を手に入れて小山南に帰ってきます！



○陸上競技部 2S3 福井 紅音さん

① 大会の感想

格上の選手がたくさんいる中でのレースでしたが、今までの練習の成果を発揮し、全員が最後まで諦めずにタスキを繋げることができました。チームの目標は惜しくも届きませんでしたが、県大会よりもいい走りができたと思います。

② 予選を通過できた秘訣

今年は人数が足りず、県大会出場ですらギリギリの状態でした。しかし、短距離の先輩や同級生の力を借り、何とか県大会に出場することができました。

③ 次の駅伝に向けての意気込み

次の駅伝は南部大会。県大会や関東大会に比べると小さな大会ですが、3年生とタスキを繋げる最後のレースになってしまうので、各自が力を出し切り悔いの残らぬ走りができるよう頑張ります。

